

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月29日

和泉市長 あて

団体名 桃山祭実行委員会

代表者名 後藤 頼以

所在地 和泉市まなび野 1-1
桃山学院大学 和泉キャンパス
カンタベリー館 2階
桃山祭実行委員会

電話番号 0725-92-7608

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	第66回桃山祭
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	6,212,000 円 (うち、対象経費 3,194,800 円)
支援金 交付申請額	800,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

事業計画書

1 事業名	第66回桃山祭
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 2025年4月の大学統合により和泉キャンパスの在籍学生が増えたことで、周辺地域での人の往来や学生と地域住民との接点が増加している。一方で、学生と地域との交流の場が限られており、地域社会とのつながりをさらに深める機会の創出が課題となっている。 本事業では、桃山祭を通じて学生と和泉市民が気軽に交流できる場を設け、地域活性化と相互理解の促進を目指す。市民団体の出演・出展も継続し、人間教育学部の学生を中心に、より地域に開かれた大学祭を実現する。</p> <p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 様々な世代が訪れる桃山祭では、学生のみならず地域住民の方々にとっても、桃山学院大学が人と人とを結ぶ「つながりの場」となることを目指している。来場される市民の皆様と、運営する私たち桃山祭実行委員会の双方にとって、心に残る楽しい思い出を共有することができれば、大学と地域との距離がより近づくと考えている。 このような交流の場が生まれることで、地域の方々が大学に親しみを感じ、大学の活動への理解が深まるとともに、学生にとっても地域社会への関心や貢献意識が高まるという相互的な効果が期待される。また、地域住民の方々が学生と関わることで、若者の活気や新しい発想に触れる機会となり、地域全体の活性化にもつながる。 桃山祭を通して楽しい記憶を作ることは、地域と大学との間にある「関わりの希薄さ」や「世代間の交流不足」といった課題の解消を目指すものである。世代や立場を超えて共に時間を過ごすことで、地域の絆を強め、和泉市全体の一体感を高めたいと考えている。</p>
4 事業内容（※別紙添付可）	<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 近隣のこども園の園児を招いての本学学生による演劇、市民の方々が楽しめるステージイベント（本学各団体・アイドル・よさこい）、屋内ホールイベント（芸能人・芸人）、模擬店の出店、フリーマーケットの出店など（一部市民の方々も出店・出演・協賛が可能）に参加していただく。最終日に行う花火は毎年恒例の企画となっており、多くの市民の方々に好評を得ている。桃山祭実行委員会の構成員は警備等を行い、安心安全な桃山祭を運営できるように取り組む。</p>

② 実施期間（日時）	令和8年11月中旬～下旬予定 開催日は3日間（予定）
③ 実施場所	桃山学院大学 和泉キャンパス
④ 主な対象者	桃山学院大学学生および卒業生大学周辺地区（はつが野、のぞみ野、内田町、緑ヶ丘）やその他全ての和泉市住民
⑤ 参加予定者数	3日間で延べ15,000人
⑥ 告知方法	ホームページ、公式 SNS（X、Instagram、YouTube）、ビラ配布（大学周辺、南海電気鉄道各駅（和泉中央一中百舌鳥間））、ポスター掲示（周辺自治会館、南海電気鉄道駅（和泉中央一中百舌鳥））、近隣自治会の回覧板、新聞にチラシの折り込み、各種広報誌への掲載

5 事業スケジュール

次期（月）	内容
6月	活動メンバー結成、その年のテーマ決定、実施企画立案、企画書作成、近隣自治会へのご挨拶、予算案作成、大学関係所管との運営会議
7月	案内ビラ作成、ステージイベントや模擬店等の出演・出店依頼、協賛企業への依頼開始 リハーサルの実施、模擬店等の出店・出演者との面談
8月	リハーサルの実施、各広報誌への掲載依頼、最終企画書（実施企画詳細の決定）の作成
9・10月	リハーサルの実施、各駅でのビラ配布・ポスター掲示依頼、模擬店等の出店者との最終確認、修正予算作成
11月	事前準備、桃山祭開催（開催期間中は毎日大学関係所管と運営会議）
12月	開催実績の集約とデータ化、次年度に向けての引継ぎ（大学関係所管との反省会を兼ねた会議）

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

①公益性	<p>① 和泉市の中でも非常に大規模なイベントであり、市民の方々には来場者としてだけでなく、出店・出演・協賛という形で桃山祭に関わっていただいている。地域や年齢を問わず多くの市民に愛され、共感を得られる事業であると考えます。</p> <p>また、配慮が必要な市民の方々に対しては、会場内のバリアフリー対策を講じており、エレベーターの使用を可能とするほか、身体障害者用トイレの位置を把握・周知し、円滑に利用できるよう</p>
------	---

	<p>体制を整えている。また、メイン企画や大型企画は段差のない平地に設置するなど、移動のしやすさにも配慮している。これにより、高齢者や障がいのある方、小さな子どもを連れた来場者など、多様な市民の方々が安心して参加できるよう努めている。</p> <p>② 桃山祭は多くの市民の皆様にご協力をいただき開催しており、出展（出店）される市民団体が普段どのような活動を行っているのかを来場者に知っていただける事業でもあると考える。</p> <p>③ 地域のお祭りでは地域ごとの住民交流が主になるが、桃山祭ではさらに大きな規模での和泉市民間の交流も可能であり、交流が深まることで、出展（出店）していただける市民団体や地域そのものの活性化にもつながる。</p>
②継続性	<p>④ コロナ禍でも、オンラインでの開催を行い、継続的な開催を続けてきたことで地域に定着し、令和8年度で開催回数は 66 回目を迎える歴史のあるイベントであり、祭りを行うことで学生間だけでなく、市民間の交流を深める場となり、和泉市の活性化につながる事業であると考えます。</p> <p>⑤ 協賛専門のチームを作り、積極的に財源確保に努めている。</p>
③実行性	<p>⑥ 学生のみで事業が遂行されるのではなく、大学関係所管とも協働し、学生の理想だけで実施することはなく、実現可能な範囲で理想との差異をなくせるよう事業計画を練っている。</p> <p>⑦ 事業達成に向け活動チームを分け、週一回各チームの責任者と幹部が集まり、情報共有と課題解決のための会議を実施している。</p> <p>⑧ 自主財源や協賛金だけではさらなる住民・学生の交流の一層の推進を図れるように内容を充実させることが難しいため申請させていただいた。</p> <p>⑨ 例年 100 名前後の学生が主体的に活動しており、幹部学生による活動チームのスケジュール管理や情報管理を行うことで安定した活動環境にある。また定期的に構成員全体でリハーサルを行うことで士気の低下を防ぎ、開催に向けての意思統一が行われている。</p>
② 協働性	<p>⑩ 多くの市民の方々に参加していただけるよう、様々な企画を用意している。また、来場者としてだけでなく、出店側(フリーマーケット等)・出演者側(ステージイベント出演)としても参画いただける事業である。</p> <p>⑪ 複数のこども園や市民団体、近隣自治会等にご協力いただくことで、様々な方々の連携・交流のきっかけになると考える。</p> <p>⑫ ほぼ全ての企画に年齢制限がなく（一部子ども限定イベントあり）、世代、地域に関わらず交流・協力が図れるイベントであると考えます。</p>
⑤公開性	<p>⑬ 公式ホームページや SNS の利用、近隣自治会等への情報共有（ポスター掲示や回覧板）、和泉中央駅でのピウ配りなどを積極的に行い、大学近隣以外の市民にも参加して頂けるよう情報発信をしている。</p> <p>⑭ 3日間を通して様々な企画を用意しており、3日間どの日程に来</p>

	<p>場いただいても、満足していただけると考える。また、構内での休憩スペースの設置や建物内にはエレベーターもあり、誰でも、誰とでも楽しめる環境にて開催している。</p>
<p>⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)</p>	<p>⑮ 桃山祭は学生主体の行事だが、市民の方々の協力なしには開催できない祭りであるといえる。学生と市民の方々が作る地域密着型のお祭りは和泉市の魅力と誇りが詰まった祭りとなる。このことから、どんな方にも興味を持っていただける事業になると考えられる。</p> <p>⑯ 来場者の方々からのお声をもとに例年企画の見直しを行っており、今後も地域の方々をはじめとする来場者により楽しんでいただける事業となると考えられる。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 第66回桃山祭

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	5,412,000	援助金（大学28万円、教育後援会297万円、大学同窓会45万円） 協賛金（企業や自治会、近隣店舗等） ※企業による協賛プランが88,000円、44,000円、33,000円、22,000円、11,000円、5,000円の6種あり。 年度によってプラン数にばらつきがあるが、例年130万円前後の収入。 ホールイベントチケット売上収入 ①学内販売（学生対象）700円×100枚 ②一般販売1,000円×330枚 移動動物園売上収入 （100円×120枚）
合 計	6,212,000	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	700,000	出演料 ①メインイベント（土曜、200万円のうち30万円）、②お笑いイベント（金曜、60万円のうち30万円）、③アイドルイベント（日曜、10万円）
印刷製本費	201,800	ポスター印刷（片面カラーA1 2部）等
役務費	70,000	振込手数料、郵便料、保険代、道路使用許可手数料、火薬類取締法等許可手数料
委託料	1,690,000	花火打ち上げ、ステージ設置、広告掲出料、移動動物園委託料、大阪プロレス委託料、HADO委託料等
使用料及び賃借料	500,000	各種レンタル代（トランシーバー、ふわふわドーム）等
原材料費	33,000	屋内アーチ門柱に使用する木材等
報償費（対象外）	2,400,000	出演料（メインイベント、お笑いイベント）上限300,000円を超える分
消耗品費（対象外）	559,670	コピー用紙、インク、ペンキ、ブース用品
食糧費（対象外）	50,530	ゲスト、外部関係者食事代等
印刷製本費（対象外）	2,000	コピー代等
役務費（対象外）	5,000	対象外経費に係る振込手数料
合 計	6,212,000	
対象経費	3,194,800	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。